

第3次綾部市環境基本計画(令和元年度～令和5年度)達成状況

綾部市では、「美しい山河のもとでゆったりやすらぎのまち綾部」を基本目標とする第3次綾部市環境基本計画(前計画)を策定し、令和元年度から5か年を計画期間とする前計画では4つの環境像を定め、進捗状況を毎年度確認しながら達成に向けた取組を進めてきました。

1. 計画の概要

2019(平成31)年3月に策定した「第3次綾部市環境基本計画」では、基本目標「美しい山河のもとで ゆつたりやすらぎのまち 綾部」の実現に向けた具体的な方向性として、4つの環境像を設定しています。

【計画の施策体系】

基本目標	環境像	施策
美しい山河のもとで ゆつたりやすらぎのまち 綾部	1 「水と緑そして星空のまち」に向けて	(1) 清流を守り、水との触れ合いを保つために 1 生活排水対策 2 事業所排水対策 3 水質汚濁に関する監視・指導等 4 親水空間等の整備 5 広域的取組と啓発
		(2) 美しい星空と、澄んだ空気のために 1 大気汚染防止対策 2 ごみの野焼き対策 3 澄んだ大気維持のための啓発
		(3) 健康に暮らせる生活環境の維持のために 1 騒音・振動、悪臭防止対策 2 有害化学物質対策
		(4) 緑を守り、美しく快適なまちづくりのために 1 ゆとりと潤いのあるまちづくりの推進 2 緑化の推進 3 緑化思想の普及啓発
		(5) 自然と共生するために 1 貴重な自然の保全 2 野生生物との共生の確保 3 生物多様性の保全 4 自然観察会の実施 5 景観の保全 6 歴史的文化的遺産の保全 7 自然災害に強いまちづくり
		(6) 豊かな自然の恵みを活用するために 1 農業の振興と環境保全 2 林業の振興と環境保全 3 内水面漁業の振興と環境保全 4 地域資源の活用と発信
	2 まち「循環」と調和の に向けた	(1) 循環型社会の形成と推進のために 1 ごみ減量の推進 2 地域でのごみ減量の取組の推進 3 事業者の廃棄物対策 4 不法投棄対策 5 一般廃棄物処理施設の整備等 6 一般廃棄物の広域処理 7 ごみに関する情報発信と啓発 8 災害ごみの取り扱いについて
		(1) 地球環境の保全に向けて足元から行動するために 1 地球温暖化防止対策 2 再生可能エネルギーの普及促進 3 省エネルギーの推進 4 世界の森林の保全対策 5 グリーン経済の推進 6 地球環境問題に関する情報発信と啓発
	4 まち「参加」と創造の に向けた	(1) 環境への関心を高め、参加するために 1 学校教育における環境教育の推進 2 地域社会における環境教育の推進 3 環境情報システムの構築
		(2) 協働による環境保全活動のために 1 環境保全団体など市民の自主活動への支援 2 環境保全活動への参加の促進と活動支援 3 環境マネジメントシステムの導入と推進 4 「平和と環境の日」関連行事の開催と啓発 5 綾部市環境基金

2. 取組状況

(1) 数値指標

計画内で定められている21の主要な指標について、最終年度(令和5年度)の目標達成が10項目(47.6%)、概ね達成が2項目、未達成が9項目となりました。

項目番号	項目	基準値 (平成29年度)	目標値 (令和5年度)	実績数値 (令和5年度)	評価
1	市内河川のBOD環境基準適合率	100%	100%	100%	1. 目標達成
2	汚水処理人口普及率	80%	86%	86.7%	1. 目標達成
3	大気汚染に係る環境基準達成率	75%	100%	75%	3. 未達成
4	天体観望会の参加者数(年間)	1,028人	1,150人	1,109人	2. 概ね達成
5	水道水の総トリハロメタンの水質基準適合率	100%	100%	100%	1. 目標達成
6	河川のpH環境基準達成率	100%	100%	100%	1. 目標達成
7	緑化普及イベント参加者数(年間)	14,297人	15,000人	7,182人	3. 未達成
8	有害鳥獣侵入防護柵設置延長(累計)	579km	675km	830km	1. 目標達成
9	エコファーマー認定件数(年間) ※令和5年度から「みどり認定」	10件(新規)	10件(新規)	2件(新規) 73件(更新)	3. 未達成
10	森林経営計画策定件数(年間)	1件	1件	3件	1. 目標達成
11	間伐面積(年間)	209ha	300ha	154.99ha	3. 未達成
12	定住世帯数 定住サポート総合窓口扱い(累計)	209世帯	300世帯	386世帯	1. 目標達成
13	可燃ごみ(家庭系)収集量(年間)	5,568t	5,300t	4,790t	1. 目標達成
14	不燃ごみ(家庭系)収集量(年間)	908t	650t	990t	3. 未達成
15	団体等による紙類の回収量(年間)	1,135t	1,500t	709t	3. 未達成
16	あやバス乗車人数(年間)	205,670人	218,000人	165,617人	3. 未達成
17	補助を行った住宅用太陽光発電システムのkw数(累計)	2,217.89kw	2,698.00kw	3,047.22kw	1. 目標達成
18	環境をテーマとした講座の参加者数(年間)	725人	750人	802人	1. 目標達成
19	モデルフォレスト活動実施事業所数(累計)	3事業所	4事業所	3事業所	2. 概ね達成
20	環境美化クリーン大作戦参加者数(年間)	8,312人	8,400人	4,523人	3. 未達成
21	世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール応募数(年間)	456点	460点	361点	3. 未達成

(過去の達成状況)

令和5年度 21項目中 目標達成:10項目(達成率:47.6%) 概ね達成:2項目 未達成:9項目

令和4年度 21項目中 目標達成:9項目(達成率:42.8%) 順調に推移:2項目 未達成:10項目

令和3年度 21項目中 目標達成:8項目(達成率:38.0%) 順調に推移:3項目 未達成:10項目

令和2年度 21項目中 目標達成:5項目(達成率:23.8%) 順調に推移:5項目 未達成:11項目

令和元年度 21項目中 目標達成:4項目(達成率:19.0%) 順調に推移:8項目 未達成:9項目

(2)施策の実施内容

計画に記載されている施策について、それぞれの環境像に対する各所管課の自己評価を集計した数値と、各種事業や取組の内容を以下のとおり記載しています。

全体としての自己評価は、○：取り組めた85.4% △：概ね取り組めた12.6% ×：取り組めなかった1.9%でした。

1 水と緑そして星空のまち（自己評価○91.8%、△6.6%、×1.6%）

目標	主な取組内容
清流を守り、誰もが水と触れ合えるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○公共下水道事業など、地域の実情に応じた事業手法により、水洗化区域の拡大を図り、2023(令和5)年度末での汚水処理人口普及率は86.7%となりました。 ○上林川を守る会が実施する水環境保全活動を支援しました。 ○工業団地等に立地する事業所が公害防止・環境保全協定に基づき報告する水質測定結果により、監視を行いました。また、綾部工業団地内4か所で年2回、水質調査を実施しており、環境基準を達成しています。 ○家畜排せつ物の適切な管理、処理及び排水対策について、中丹家畜保健衛生所、府広域振興局と共に畜産業者の現地確認を行いました。 ○子どもたちの自然体験や野外学習、地域住民の憩いの場としての親水公園づくりを進めるため、由良川かわまちづくり計画策定に向け河川国道事務所など関係者と協議しました。 ○由良川の水質保全や河川生態系の維持に向けて由良川水質汚濁防止連絡協議会に参画し、京都府や関係市町との情報共有・連携に努めました。また、由良川(山家橋)、上林川、八田川、犀川、伊佐津川においては京都府が月1回(伊佐津川は年4回)、由良川(以久田橋)においては国土交通省が月1回、中小河川等においては市が年2回水質調査を実施しており、いずれも環境基準を達成しています。 ○上林川を守る会や京都府立綾部高等学校が実施する水生生物調査を支援しました。
澄んだ空気の中で、美しい星空が見渡せるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○大気汚染防止法や京都府環境を守り育てる条例等に基づき、京都府と連携し監視を行いました。 ○綾部市野焼き火災対策連絡会議を設立し、関係機関と連携して取り組むとともに、ごみの野焼き行為の通報を受けた際、行為者に対して現場で直接指導などを行いました。また、廃棄物の正しい処理方法や野焼きの禁止について広報紙などで周知しました。 ○アイドリング・ストップ、エコドライブについてポスターの掲出等で啓発を行いました。 ○綾部市環境市民会議による廃食油回収事業を令和4年度まで支援しました。 ○天文館において、毎週末(金～日曜日)の晴天時に、夜間天体観望会を開催。5年間で338回実施し4,474人が参加しました。
健康に暮らせる公害のないまち	<ul style="list-style-type: none"> ○騒音規制法や振動規制法などに基づく特定施設設置等の届出に対応するとともに、事業者に対して騒音・振動の防止対策について指導を行いました。 ○綾部工業団地等の事業所において、公害防止・環境保全協定に基づく環境測定の報告等により監視を行いました。 ○工場・事業所等による悪臭への対策について、悪臭防止法や京都府環境を守り育てる条例に基づき、関係機関と連携し、監視を行いました。
緑の中で快適な市民生活を営むことのできるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園の遊具の更新を行いました。また、通常の公園管理については、市民との協働の取組を推進し、公園の活用と保全に努めました。 ○里山交流研修センターやあやテラスの整備において、都市における環境保全や景観形成、市民のレクリエーション利用や防災の観点からオープンスペースを確保しました。 ○綾部市環境市民会議が実施するあやベグンゼスクエアでの木陰の小道整備事業を支援しました。また、京都府綾部工業団地の立地企業の景観保全協定に基づき、積極的な緑化を促しました。 ○緑化思想の普及啓発として、公益社団法人綾部市シルバー人材センターが開催する由良川花壇展、菊花展、葉ぼたん展等を支援しました。 ○学校や地域で結成された緑の少年団において、緑の募金などを活用して、野外活動の支援を行いました。

自然と人間が共生するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府自然環境整備計画事業について、睦寄町園地で園路と公衆トイレの整備が完了しました。 ○市が行うため池の改修工事において、水たまりを残すなどして生態系に配慮した工事を行いました。 ○シカ、イノシシなどの有害鳥獣による農産物被害への対策として、捕獲と侵入防止柵の設置を推進しました。5年間の捕獲数は、イノシシ2,418頭、シカ8,408頭、サル90頭、クマ72頭、小動物582頭、鳥類186羽。侵入防止柵実施団体は96団体、設置延長は181,357mとなりました。 ○上林川を守る会が実施する水生生物調査などを支援しました。 ○特定外来生物について、ホームページや市広報紙により啓発し、外来種問題に関する情報提供を行いました。 ○良好な里山景観の保全に向けて、上林川を守る会が実施するヨシ刈り作業や上林川環境美化大作戦を支援しました。 ○いきいき地域応援事業により、自治会連合会が主体的に取り組む景観整備活動を支援しました。また、水源の里指定集落による活性化事業や景観保全活動を支援し、自然景観と調和した集落の保全に努めました。5年間の支援実績は、自治会連合会単位で15件、水源の里指定集落で41件となりました。 ○歩きやすく賑わいと活気を感じる街並み景観の創出に向けて、旧市民センター跡地に整備する新都市公園の設計を進めるとともに、都市計画マスターplanの改定案を検討しました。 ○綾部市自主防災組織等ネットワーク会議と連携し、自助・共助・公助の連携による災害に強いまちづくりを進めるため、研修会を開催するとともに、自主防災組織の設立(令和5年度現在の組織率は83.4%)や防災講座などを実施しました。また、減災に向けた水害等避難行動タイムラインを作成しました。5年間の実績として、水害等避難行動タイムライン作成は43自治会、防災講座は91回開催し3,144人が参加しました。 ○国・府と連携し、ため池の点検や治山ダムの新設・堆積物除去などにより、減災に努めました。
豊かな自然の恵みを地域の活性化や農林業の振興に活かすまち	<ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域等直接支払制度においては、農地の維持、農地が有する水源かん養機能や洪水防止機能等の多面的機能を増進する活動等を支援しました。令和5年度取組組織数は60協定、取組面積は801haとなりました。 ○多面的機能支払制度においては、農地保全と農業用施設の維持修繕、老朽化が進む施設の長寿命化を行い、景観形成・生活環境保全、生態系保全など農村環境を守る取組を行った組織に対して交付金を交付しました。令和5年度取組組織数は70組織で、農地維持67組織、資源向上(共同活動)62組織、資源向上(長寿命化)57組織、取組面積1,248haとなりました。 ○農業後継者の育成・確保に向けて、新規就農希望者が農業技術・経営研修等を行う実践農場を2か所設定しました。また、関係機関と連携を図り、新規就農希望者等の相談に対応しました。 ○環境保全型農業直接支払制度においては、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組んだ農業者団体等を支援しました。また、地産地消を推進するため、小・中学校で地域の特産品を使用した給食を同じ日に食べる「あやべ丸ごといただきます。あじわいランチの日」を5年間で22回実施しました。 ○農業用施設等改良整備事業において、ため池の計画的な改修に取り組みました。 ○持続可能な循環型林業を構築するため、新たに森林経営計画を作成し、森林施業の推進に努めました。 ○里山の再生を進めるため、モデルフォレスト活動に参画する企業の増加に努めました。活動は、5年間で3事業所合わせて26回実施されました。 ○河川の水産資源の確保と増殖を目的とした由良川・上林漁業協同組合によるアユなどの稚魚放流事業を支援し、内水面漁業の振興を図りました。5年間の補助実績はアユ8,500kg、フナ500kg、アマゴ600kg、ウナギ230kgとなりました。 ○「あやべ定住サポート総合窓口」を通して、空き家情報や就農・就職支援など定住に関する情報提供などをを行い、令和5年度末累計で386世帯887人の定住につながっています。また、水源の里指定集落の定住や都市との交流、地域産業の開発と育成を支援しました。なお、令和5年度末時点の水源の里指定集落数は20集落。5年間の定住支援給付金交付世帯は16世帯、住宅整備補助金交付件数は5件でした。 ○NPO法人里山ねっと・あやべ等と連携し、農家民宿や体験プログラム、里山交流大学などグ

	<p>リーンツーリズムの取組を促進しました。5年間の交流人口は7,404人、教育体験旅行受入実績は257人となりました。</p> <p>○あやべ丹の国まつりや綾部夢ライトなど各種イベントにおいて、ごみの分別収集やごみの持ち帰りを推進しました。</p>
--	---

2 循環と調和のまち（自己評価○58.3%△41.7%×0.0%）

目標	主な取組内容
循環型社会の形成と推進	<p>○綾部市一般廃棄物処理計画及び綾部市分別収集計画に基づき、全市域を対象に計画的な分別収集を行いました。燃やさないで処理するごみは、コロナ禍以降、家の片付け等による排出増により、この5年間で930トンから1,016トンの間で推移。燃やして処理するごみは、令和5年度は4,790トンで、5年間で577トン減少しました。</p> <p>○「リデュース(発生抑制)」においては、市広報紙による食品ロス削減等を通じたごみの発生抑制、「リユース(再使用)」においては、家具類などの粗大ごみをリユース品に、「リサイクル(再生利用)」では、資源回収補助金制度や古紙回収用保管庫設置費補助金制度の周知により、啓発に努めました。また、綾部市環境市民会議の生ごみの自家処理普及活動と連携する中で、生ごみ処理機補助金制度を創設し、ごみ減量又は堆肥化の取組を推進しました。</p> <p>○3Rの推進に向けて、綾部市環境市民会議が実施するEM菌の普及啓発・廃食油回収事業(2022(令和4)年度廃止)といった資源の再利用と環境保全に向けた様々な事業に対し支援を行いました。</p> <p>○リサイクル推進員との連携による分別の取組を通じ、ごみの減量化・資源化等の促進に努めました。また、リサイクル推進員総会で約450人に、ごみ減量化などに関する研修を行いました。</p> <p>○市発注工事の廃棄物を減量化するため、建設工事に係る資材の再資源化に関する法律(建設リサイクル法)の対象工事において再資源化等を実施するとともに、京都府への通知、業者への指導及び施工中の随時立会いや検査時のマニフェスト確認を行いました。</p> <p>○生活ごみ等の一般廃棄物の不法投棄については、自治会やリサイクル推進員等の協力で、早期発見、早期対応による不法投棄をされない環境づくりに努めるとともに、不法投棄禁止の警告看板を設置しました。</p> <p>○中間処理施設「綾部市クリーンセンター」において、計画的に修繕を行い、安定的な可燃ごみの処理を行いました。</p> <p>○新最終処分場などの一般廃棄物処理施設については、水質検査などを実施するとともに、環境に配慮した運転管理に努めました。</p> <p>○綾部市環境市民会議が6月の環境月間に合わせて実施するごみ減量キャンペーンの啓発活動を支援しました。</p> <p>○災害廃棄物の適正な収集・処理を行うため、災害廃棄物処理計画を策定しました。</p>

3 地球環境を守るまち（自己評価○92.3%△7.7%×0.0%）

目標	主な取組内容
地球環境の保全のために足元から行動するまち	<p>○地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき、市広報紙などを通じて省エネ・節電対策や地球温暖化防止対策に関する啓発を行いました。</p> <p>○地球温暖化防止及びオゾン層の保護のため、市所管の施設において、フロン排出抑制法に基づきフロン使用機器の点検等適切な管理を行いました。また、「守ろうごみマナー」のポスター等を通じて、家電リサイクル法に則した家電製品の処理について市民への情報提供を行うとともに、クリーンセンターに持ち込まれた対象品について適切に処分しました。</p> <p>○公共交通機関の利用を促進するため、あやバスにおいては、健康長寿定期65半額キャンペーンや運転免許証自主返納者あやバス回数券等交付などの高齢者向けのモビリティ・マネジメントを行うとともに、あやバス絵画展やあやバス乗車体験など子ども向きのイベントを行いました。鉄道では、学生の鉄道利用通学費補助やあやべあいトレインの企画を実施しました。</p> <p>○再生可能エネルギーの利活用に向けて、2050(令和32)年カーボンニュートラルの実現に向けた道筋を示す「綾部市脱炭素ロードマップ」を踏まえた「綾部市エネルギー環境基本計画」を策定しました。また、住宅用太陽光発電システム設置費補助は平成23年度から令和5年度末まで累計617件、太陽光3047.22kW、家庭向け自立型再生可能エネルギー導入費補助制度は平成28年度から令和5年度末まで累計102件、蓄電池689.16kWh分を支援し、太陽光エネルギーの利活用を支援しました。</p>

	<p>○省エネ型ライフスタイルやビジネススタイルの普及・啓発に向けて、クールビズやその他省エネに関する情報提供の他、子どもにも分かる啓発冊子を作成しました。また、市所管の施設において、エアコン稼働時の温度管理を徹底し、節電に努めました。</p> <p>○市所管施設の新築・改修工事において、LED照明の採用や消し忘れ防止による人感センサーの設置を行いました。また、空調工事においては、地球温暖化係数を抑制する機種を設置し、省エネルギー型設備の普及に努めました。</p> <p>○第3次綾部市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、アイドリング・ストップの徹底やエコドライブの推進、公用自転車の利用促進に取り組みました。</p> <p>○市が発注する工事においては、針葉樹合板やエコ製品の使用について仕様書で明記し、熱帯材系(広葉樹)合板からの転換を進めました。</p> <p>○あやテラスと里山交流研修センターの備品等に地域産の木材を使用しました。</p>
--	---

4 参加と創造のまち（自己評価○76.5%△17.6%×5.9%）

目標	主な取組内容
誰もが環境について学び、考えるまち	<p>○学校教育においては、総合的な学習の時間、生活科、理科、社会科、家庭科等の学習を通して、身の回りや地域の環境を調べたり、環境の改善や保全のために自分にできることを考えたりする環境教育を推進しました。また、児童会や生徒会活動による家庭と連携したアルミ缶回収活動やPTA活動としての資源回収、書き損じはがきの回収等に取り組みました。さらに、学校での環境教育の定着を図るため、綾部市環境市民会議や上林川を守る会等の取組支援を通じて啓発を行いました。</p> <p>○出前講座やクリーンセンターへの施設見学、公民館事業などの活動を通じて環境学習の機会を提供しました。</p> <p>○市広報紙の掲載やFMいかる等を用いて環境の情報を発信するとともに、ホームページで啓発するなど、市民が手軽に情報を入手できるよう努めました。また、市の補助金に加え、国・府の情報もホームページに掲載し、周知に努めました。</p> <p>○図書館の環境に関する蔵書に努めました。また、各学校において、児童・生徒の主体的な「調べ学習」を促進するとともに、京都府立図書館の環境をテーマにした学校支援セットを提供しました。</p>
地域と地球の環境の保全と創造に誰もが参加するまち	<p>○「綾部市役所環境マネジメントシステム」により、本庁舎などのエネルギー使用量削減に努めました。</p> <p>○事業者にセミナー等の情報を提供し環境マネジメントシステムの認証取得の促進に努めました。</p> <p>○「平和と環境の日」関連行事として、地球市民の集い実行委員会による平和と環境保護に係る行事や「世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール」を開催しました。類似のコンクールが多数あり、学校毎の取組によりますが、5年間で合計1,686点の応募がありました。</p> <p>○綾部市環境市民会議が実施する「環境美化クリーン大作戦」を支援しました。コロナ禍で中止となった令和2・3年度以後は、ごみ袋の数を参加者数としており、令和5年度は4,523人で、令和元年度の7,823人から減少しています。</p>